

A VENUE

vol.17

<http://www.kokusai-riyoubiyou.ac.jp/kbf/index.html>

ビジネス美容科来客実習

平成19年度は来客実習に足を運んで頂きまして、誠にありがとうございました。
ビジネス美容科の来客実習は満足して頂けたでしょうか？
平成20年度も5月より毎週土曜日に、来客実習の予定を立てております。
今後ともお客様に満足して頂けるよう職員・学生一同努力致しますので、
どうぞ宜しくお願い致します。皆様のお越しをお待ちしております。



国際理容美容専門学校 3号館
ビジネス美容科 職員・学生一同

次年度のコース

フェイシャル 60分コース 1,000円(カウンセリング・クレンジング・マッサージ・パック)
ボディ 60分コース 1,000円(カウンセリング・マッサージ)

※ 上記のコースを行う予定となっております。
※ 今後も多くのメニューを取り入れる予定となっております。日程や不明な点は、下記にお問い合わせ下さい。

国際理容美容専門学校 3号館 エステ体験係
電話番号:03-5850-7201 FAX:03-5850-7202

日本エステティック協会創立35周年記念大会 エステティックコンテスト<地区予選>



左 22番:齋藤 桃香 中央 23番:平田 美里
右 13番:濱野 沙奈恵

決勝大会 出場決定
スチューデント部門 1位、3位、4位
会員部門 2位入賞

日本エステティック協会が、昨年に創立35周年を迎えその記念として全国各地で技術コンテストが開催されました。今回がエステティック業界での大会が初めてのものとなり、ビジネス美容科では、知識・技術力向上の為、学生と職員が参加させて頂きました。
コンテスト出場に向け、朝・放課後練習を行い、技術力を上げ挑み、見事入賞をしました。
予選大会を勝ち抜いた4名は、2008年3月26日(水)ホテルパシフィック東京で開催される決勝大会に向け、入賞を目指し練習中です。



ビジネス美容科職員:松木 かおり

Letter

卒業生の皆様へ...

ビジネス美容科 高柳 幸子

卒業生の皆さんお久しぶりです。

今この文章を書いているのは2月20日(水)

シアスコ国際試験の真最中です。

この試験を懐かしく思う人も多いのではないのでしょうか。

私も毎年全員が合格出来るよう、指導を行っています。

今後もエステティックを好きな学生を育成出来る様に努力していきます。

皆さんも時間があればぜひ学校に遊びに来て下さい。

そして、良い情報交換をしましょう。



KBFカード(ETCカード対応)

KBFではUFJニコス(株)と提携してKBFカードを発行しています。



(会員限定特典)

- 割引特典がございます。
- 学校窓口にて教材の10%割引。
- KBF主催のセミナーなどの会員割引。
- KBFの会報誌(アヴェニュー)のお届けを致します。
- あなたの結婚式に祝福のサービスを致します。

詳しいお問合せ、入会ご希望の方は事務局までTEL又はメールにて問い合わせください。
KBF事務局 03-3803-6696(担当 関根)
e-mail kbf@kokusai-riyoubiyou.ac.jp
アヴェニューへのご意見ご希望などもお寄せください。

CONTENTS

- KBFセミナー 美形祭・展示授業
●関東甲信越大会・第3部優勝者に関する 理容競技大会
- 突撃レポート Part3(第4号校舎)
●中学生・高校生のための理容職場体験 開催中
●KBF 特別セミナー
- ビジネス美容科来客実習
●日本エステティック協会創立35周年記念大会 エステティックコンテスト<地区予選>
スチューデント部門 1位、3位、4位・会員部門 2位入賞
●レター 高柳先生から



KBF 美翔祭・展示授業 セミナー

平成19年11月19日、母校の「美翔祭」にて、今年で3年目になるKBFセミナー（展示授業）が第4号校舎で行われました。平成9年卒業の宇田川みやび（中川）さんと、昭和61年卒業の柳原御幸さん、2人とも理容科の卒業生です。宇田川さんは、着付けとアップスタイルとメイクを三人のモデルを使って。柳原さんは、メンズ二人とレディース四人のモデルを、カットとセット。そしてセットアイロンを使っての短時間で出来るパーマスタイルを創りました。在校の一年生対象のセミナーでしたので、今後の技術習得の参考にしてもらえれば幸いです。各セミナーの最後にディスカッションの時間を設けて、技術の事、サロンで働くための心構え、理美容業界に携わる仕事の事などを、学生から質問を受けつけていました。



モデルは在校生の皆さんです。

関東甲信越大会・第3部優勝者に聞く 理容競技大会

平成19年7月16日に開催された、「関東甲信越理容競技大会」で、校友の小林雄太（H14年卒業）さんが優勝したとの事で、本人に会って「いろいろと積もる話！」を聞いてみました。競技大会に出場したい学生や卒業生の皆さんの少しでも参考にできれば幸いです。

関東甲信越大会第3部門優勝おめでとうございます。それでは、今から大会にまつわる、涙無くしては語れないエピソードをお話いただけます。宜しくお願いします。

この競技を始めたのはいつからですか？

2年前からです。それまでは、ボンバージュセットをやっていました。思い返せば、当時はありとあらゆるコンテストに出場していたので、出場回数は30回を超えていると思います。

30回越え？すごいですね。それだけコンテストに魅力を感じていたのですか。

就職したサロンが、コンテストに一生懸命で、入社当初、先輩方が、2ヶ月後に控えた東京大会に向けて、夜中まで練習している姿を見て、いつの間にか、それが普通なのだと思うようになりました。初めは「コンテストは勝つためのものだ」と思っていたのですが、自分がコンテストに出場するようになってからは、「目標は勝つためであっても、目的は技術、人間力の研鑽だ」と思うようになりました。こう考えられるようになったのも、今の環境のおかげなので、とても感謝しています。

そういった心の変化が、結果として優勝という形になって現れたのですか。

それもあると思いますが、他に後押ししてくれた事があります。一つ目は「先輩の思い」です。実は一年前、先輩が全国大会に出場を決めたとき、「自分も来年いければいいな」程度しか思っていなかった。しかし、夜中1時、2時まで、先輩の手伝いをしてくるなかで、いつの間にか先輩との信頼関係が増していき、しかし全国大会で、先輩は思うような結果がでず、本当に悔しくて私も共に涙しました。「来年でコンテストは最後にする」と先輩が言葉にしたとき、私の中で何の迷いもなく、「同じ舞台に立ちたい」と強く思い、一言「一緒に全国に出たいです」。この日から本当の意味での挑戦が始まりました。

休日は大学に行き、ほとんどの時間をモデルハントに費やしていました。練習も本番同様に仕込みを行い、より実践に向けて行いました。とにかくこの1年間は、先生に言われた事、ただそれだけを信じまっとうしていきうちに、結果が自ずとついてくるようになりました。結果、東京大会5位で関東甲信越に出場が決まりました。関東甲信越大会当日、先生、同じ舞台にいる先輩、モデルさん、支えてくれた家族、その他協力してくれた全ての人の思いを感じながら、競技がスタートしました。競技中は思い切ってやる！というだけで、正直何も覚えていません。そして結果発表、名前が呼ばれないまま残すところは優勝の発表のみ。優勝者は…「小林雄太」その瞬間、今までのモデルさんとの思いが走馬灯のように思い出され、2人で抱き合いながら、熱くこみ上げてくるものを感じました。

モデルさんとの一体感がとても感じられますね。

今回は東京大会が1ヶ月早まったおかげで、関東甲信越、全国大会も同じモデルで出場するという事でモデルさんにはかなりの負担をかけたと思います。競技に出た後改めてモデルの大切さを知り、勝つためには70-80%はモデルの力だと感じるようになりました。だからこそモデル選びは大切で、絶対に妥協はしませんでした。現在のモデルさんは、本当に運命的だったと思います。初めて現在のモデルで出場した大会は取った結果でした。そのコンテスト終了後「もうコンテストモデルをやりたい」と言われてしまい、一時途方に暮れてしまいましたが、「どうしても一緒に全国大会に出場したい」という思いだけで、必死に説得しました。想いは伝わるもので、この大役を引き受けてくれることとなりました。関東甲信越大会出場決定後のパンフレットに載せた言葉が「モデルさんと一緒に全国へ」、「こんなこと書いて」思われるかもしれませんが、モデルさんがやる気を出してくると思いましたが、それ以上に自分自身の素直な気持ちでした。「マジ強張りましようね」この言葉を聞いた時、嬉しくて涙が溢れてきました。その日から一心同体のつもりで、カットの手順も全て教え、審査員へのアピールポイントなど何れもお互いにわかりあえるようになりました。「これから何でも言って下さいね。協力します

小林 雄太 理容科H14卒業

から、むしろ僕の方が勉強になっていまして」もう気持ちが全て伝わった気がしました。自分自身の想いが人の心を動かした、本当に感謝する気持ちを学ぶことができました。自分にとっての最高の財産です。また、ここまでこれたのも、今まで協力してくれた練習のモデルさん達のお陰だと思います。なかなか気持ちを伝えることができなかったのですが、ここで感謝の気持ちを伝えたいと思います。「本当にありがとうございました」

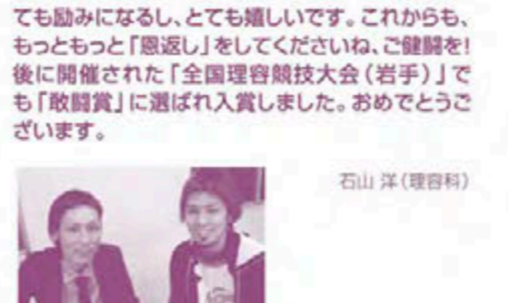
最後に、今後の目標をお願いします。

今度は、日本一を取って、支えてくれた家族、お店のスタッフ、モデルさんに恩返しをし、何よりも、「日本一を育てた師匠」として卒業先生の名を残してみせます。

小林雄太さん、有難うございました。

実は、小林さんは自分と同期の卒業なんです。自分達も校友（卒業生）が活躍してくれることがとても励みになるし、とても嬉しいです。これからも、もっともっと「恩返し」をしてくださいね、ご健闘！後に開催された「全国理容競技大会（若手）」でも「敢闘賞」に選ばれ入賞しました。おめでとうございます。

石山 洋（理容科）



AVENUE

突撃レポート

Part3 (第4号校舎)

今回で3回目になる「突撃レポート」！前回は、石山先生（理容科）のレポートでしたが、今回は、私（Ave編集長・角金）がレポートします。で、今回のターゲットは読者の皆さん（もちろん自分も！）の母校でもある「国際理容美容専門学校」です。ご存知の方も多いと思いますが、2008年の9月に本校舎のすぐ近くに新校舎（4号校舎）が完成しました。在校生や新入生は利用する事があると思いますが、自分達のような卒業生は関わる事無くすこしてしまいそうなので、KBFを代表して新校舎の見学を兼ねて「突撃レポート」です。今回の企画に同行していただいたのは、教頭の鈴木政信先生です。先生は4号校舎の建設の段階から関わってきたので「詳しいよ！」との事なので、一緒に校舎内を案内してもらいました。鈴木先生、有難うございました。4号校舎の2F実習室はリアシャンプーを完備し、最新のサロンとかわらない設備を設置したので実践的な実習授業が可能です。また、3Fはエステルームになっておりビジネス美容科・理容科が使用するなど、料を超えて利用されています。4号校舎は地上7階建てで、本校舎から1分とかわらない（通りを渡るだけ、近い！）ところにあります。で、もちろん許可なしでは入れません！セキュリティ管理もしっかりしているらしいですよ…。

レポート・角金 広喜 撮影・工藤 佑輝（美容科）



案内して頂いたのは教頭・鈴木政信先生です



最新鋭のリアシャンプー



実習中です！



4号館からの眺め！（管中方面）



綺麗でカッコいいでしょ〜

中学生・高校生のための理容職場体験

開催中

- 現在、都内で理容科を設置する専門学校と受け入れを協力してくれるサロンが連携して、中学生・高校生の職場体験を積極的に受け入れる取り組みが行われています。
- 中学生・高校生が理容という仕事を通して、「生きる力」を身につけ、進路や将来に夢や希望を持って進めるようお手伝いしようという試みです。また、理容という仕事の新たな一面を発見し、中学生・高校生が理容師を目指すきっかけになれば良いと思っております。

本プログラムは中学生・高校生のための職場体験を通して、キャリアサポートの一環としてサロン側にとっても大切な社会貢献の機会であり、より多くのサロンにご理解ご協力いただけることを願っております。

この職場体験プログラムは、以下の流れに即して実施しております。



- 受け入れにご協力いただける方は右記までご連絡下さい。
- 詳細のご案内等させていただきます。

お問い合わせ先: 国際理容美容専門学校 学務課 関根
TEL03-3803-6696

KBF 特別セミナー



平成19年9月18日 日暮里のホテルラングウッドにて「KBF特別セミナー」を開催しました。一般的なメイクでは不可能な表現を特殊な素材と技術を駆使して創り上げる「特殊メイク&特殊造形」のセミナーでした。GMアトリエ代表の松岡さんの紹介にて開講。その後は大きなスライド画像を参考に講義が進められていきました。画面に映し出される絵に、参加者の学生は「あっ、TVのCMで見た!」と、TVの影響って大きいんですね。作製に携わった松岡さんは「でも、その分だけ大変なんですよ〜…。案外簡単な仕事はないですよ!」とのこと。参加した学生も卒業後に共感する事でしょう。在校生の皆さん「KBFセミナー」参加有難うございました。



GMアトリエ代表 松岡 兼一郎氏